

日野市 SDGs 登録制度 申請フォーム
わが社の SDGs 推進事業計画書

企業・団体名

(フリガナ)

業種

提出日

年
月
日

2030年のSDGsの達成に向けて、私たちは以下のように取り組むことをここに宣言します。

申請者

(役職)

(氏名)

◆会社の事業概要等

--

◆わが社と地域とのつながり

--

◆わが社が重点的に SDGs の推進に取り組んでいること 及び 2030年の自画像

事業活動を通じて社会の課題を解決していくために、特にこのように SDGs に取り組んでおり、将来はこのようにありたいと考えています。

Goal 番号	重点的に SDGs に取り組んでいること	2030年の自画像(目指す将来像)	次回更新までの3年間で取り組むこと

◆わが社の事業のリスク

どの企業も事業に伴うリスクがあります。上記を実現するために、事業が抱えているリスクについて想定し、それを解消した未来を考えています。

現在事業経営で抱えているリスク	そのリスクが解消された未来(私たちの将来像)	次回更新までの3年間で取り組むこと

◆わが社の経営について(特徴的な知的資産の現状と目標)

SDGsに配慮してより良い未来を創り出すには、売上や利益などの財務面だけではなく、財務面以外の資産(知的資産といいます)の活用による価値創造が不可欠です。わが社の知的資産の現在と未来を次のように計画します。

	現在	2030年の自画像(目指す将来像)	次回更新までの3年間で取り組むこと
	例を参考に記入	例を参考に記入	例を参考に記入
人的資産 / 社員にひもづく資産 (ノウハウ、技能、経験、経営者の能力など)			
仕組み資産 / 会社にひもづく資産 (システム、ブランド力、もうかる仕組み など)			
関係資産 / 対外的な関係にひもづく資産 (販路、顧客・金融機関等 との関係 など)			

◆わが社の労働・人権・ワークライフバランスの現状と目標



SDGsに配慮してより良い未来を創り出すには、全ての働くヒトの人権と安全衛生における権利を守ることが不可欠です。ヒューマンリソース(人的資源)と人権意識という2つの視点から、わが社の現在と未来を次のように宣言します。

SDGs 達成の視点		現在	2030年の自画像(目指す将来像)	次回更新までの3年間で取り組むこと
		例を参考に記入	例を参考に記入	例を参考に記入
①わが社のヒューマンリソース(人的資源)に関する視点 (※ア～ウの少なくとも2つ以上記載すること)	ア)適切な労働条件の確保			
	イ)誰もが働き続けられる労働環境の提供			
	ウ)能力向上の機会や適切なキャリアマネジメント			
②わが社の人権意識に関する視点 (※エ～オの少なくとも1つ以上記載すること)	エ)多様性の確保 (ダイバーシティ&インクルージョン)			
	オ)差別やハラスメントの防止			

◆わが社の環境負荷軽減への取り組みの現状と目標



どの企業も、オフィスで電気を使用するなど、ある程度の環境負荷があります。また、通勤や配送など、気づかないうちに温室効果ガスを排出しています。SDGs に配慮したより良い未来を創り出すために、わが社の現在と未来を次のように計画します。

①気候変動が将来どのような影響をもたらすのかという視点

気候変動の主なリスク	具体的にどのような影響が考えられるかを想定できる範囲で説明	気候変動の主なリスク	具体的にどのような影響が考えられるかを想定できる範囲で説明
売上や経費、利益などの財務面に対するリスク		仕入や販売、社員確保などの営業面に対するリスク	

②気候変動に対応し、かつ、気候変動がもたらす影響に先回りすることで、リスクを機会に変える視点

SDGs 達成の視点	現在	2030年の自画像(目指す将来像)	次回更新までの3年間で取り組むこと
	例を参考に記入	例を参考に記入	例を参考に記入
資源の効率化や利用エネルギーのシフトについて			
サービスや事業内容、取扱製品のシフトについて			

◆地域社会の課題解決に対する今後の取組目標



SDGs に配慮したより良い未来を創り出すために、わが社が地域とどう関わり、地域にどう貢献するかについて、次のように計画します。

特に重点的に取り組みたい地域課題(例を参考に記入)	私たちにできる対応策や実現したい将来像(自由記入)	次回更新までの3年間で取り組むこと(自由記入)